

東京都新宿区北新宿1-8-16  
東京土建一般労働組合  
電話03 (5332) 3971 (代表)  
FAX03 (5332) 3972  
発行人・編集人  
三木 勉

印刷部数11万2400部  
(購読料は組合費のなかに含まれています)  
(年間購読料 千八百円)  
定価 五十円

# けんせつ

東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

### 11・20予算要求中央総決起大会

11月20日、午前は新宿中央公園で対都要求行動、午後には日比谷野音で中央総決起大会を開催します。国保組合への予算確保、賃金・単価引き上げ、労働条件改善などをめざして取り組みます。

## 目標達成に団結

### 秋の拡大月間ラストスパート

東京土建秋の拡大月間は10月25日までに3221人の新しい仲間を増やし、月間拡大率は2.79%に到達しました。月間目標3.5%を達成したのは江東、板橋、豊島、北、目黒、世田谷、杉並、多摩西部、府中国立、西東京の10支部。年間12%目標達成は板橋、豊島、北、多摩西部、府中国立、西東京の6支部です。10月最後の土日も行動を組んで奮闘する支部もあり、目標達成に向けた最終盤の全部をあげた取り組みが続いています。

## 板橋・舟渡高島 日曜行動で勢いを 交流を深め仲間を紹介

10月21日、拡大月間も10日を残すのみとなりました。板橋支部は達成分会も出る中で、支部目標253人に対して残数を2桁にし、ラストスパートに勢いをつけるべく各分会で日曜行動を取り組みました。

舟渡高島分会は26人の目標に対し、この日まで14人の成果。事業所からの新規採用が成果の多くを占めています。午前中は組合員訪問をした後に、午後から赤塚公園の一角でバーベキューをして交流するという取り組みを行ないました。

朝7時過ぎから、分会常設センターに集まり、バーベキューの準備を始めました。9時になって打ち合わせをし、脱退対策も兼ねて組合員訪問に出発。水野組織部長、渡邊本部書記次長、平塚支部書記のグループは訪問グッズのたまたまを渡しながら、組合員宅を5軒訪ねました。セネコンの現場でオペレーターをやっているという日さんは夜勤明けで休みを取っているところでしたが、対話に応じてくれました。「賃金が低い」「腰痛に悩まされている」など状況を聞き、仲間の紹介をお願いしました。

汗ばむほどの天気にも恵まれ、バーベキューには約90人の組合員、家族が集まり、小野寺分会長、水野組織部長が「今日は交流を深め、仲間を



赤塚公園に集まりBBQで交流する舟渡高島の仲間

## 若者に選ばれる産業へ 全建総連が第59回大会開催

全国建設労働組合総連合は10月17日(19日、岐阜県岐阜市で第59回定期大会を開催しました。53県連組合から1544人の仲間(東京土建は147人)が参加しました。

1日目の冒頭、吉田三男委員長は仲間の賃金・単価の大幅引き上げこそ大きな課題だとして、「大手セネコン、住宅企業は軒並み最高益をあげ

ている、原資は十分にある、さらに請求要求運動を広げよう。現場を変え、若者に選ばれる建設産業にして行こう」と挨拶しました。

勝野圭司書記長の経過報告を受けての質疑で、東京土建から石村英明社保対部長が新国立競技場建設現場や多摩市唐木田の火災事故現場での現場改善や労働実態の改善を通過

して、組合が動けば現場が変わるという状況を作ったと報告し、①全建総連として日常的に現場情報を交換できる体制作り、②中央倉庫、日建連、専門工業団体へのパイプ作り、③組合を超えた交流の場を開くことを要望しました。

また第34回全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰が行なわれ、金賞を受賞した千葉

## 打ち上げは返上 あきらめず成果出す

秋の拡大もいよいよ最終盤の10月23日、小金井国分寺支部は3.5%目標45人に対して34人の到達。順調にきているように思えます。

分会書記長の大竹さんは小嶋主任書記と、14日に開催された支部のボウリング大会に参加してくれた仲間を数件訪問。金城さん宅を訪れたところ、また仕事で帰っておらず、一緒にボウリングに参加されていた娘さん親子がお出迎え。大会時の話などをしながら、お父さんに伝言を頼みました。

分会の組織部長の村田さんによると、これだけ成果が上がらない月間は初めてのこと。ただ、若い仲間やこれまであまり顔をみなかった仲間がBBQやボウリングに顔をだしてくるようになった、と森谷分会長。残りわずかですが、あきらめず成果を出すまで打上げ返上で頑張ると決意を語ってくれました。

秋の拡大が、目標残数11人に対して対象者13人と厳しい状況です。この日の夜も、小金井西部分会の仲間6人が小金井市民館貫井南分館に集合。2班に分かれて訪問行動に出かけました。

分会書記長の大竹さんは小嶋主任書記と、14日に開催された支部のボウリング大会に参加してくれた仲間を数件訪問。金城さん宅を訪れたところ、また仕事で帰っておらず、一緒にボウリングに参加されていた娘さん親子がお出迎え。大会時の話などをしながら、お父さんに伝言を頼みました。



金城さんを訪問する大竹さん(右から2人目)と小嶋主任書記



発言する石村社保対部長

幸夫さん(小金井国分寺支部)が表彰を受けました。

2日目は10分科会に分かれて討議を行ない、東京土建選出の代議員も積極的に発言しました。

3日目には建設アスベストで採択しました。

訴訟支援・協力、賃金・単価引き上げ、消費税増税反対、憲法9条を守る運動などの諸課題実現と65万人組織回復実現をめざして行動しようというたった大会宣言を、全体の拍手で採択しました。

## 朝やけ

### 中央倉庫の 障害者雇用増 問題で、第三者検討委員会 28省庁で合計3700人が不正計上された と発表

障害者雇用促進法に基づく障害者雇用率制度のもとで、法定雇用率を達成できない民間企業からは障害者雇用納付金を徴収しているが、国・自治体にはこの納付金制度は適用されていない。それは、国・自治体は法定雇用率を達成することが当たり前の前提になっているからではないのか。障害者雇用の促進を望む国民の期待を裏切る行為は到底許されるものではない。

■チョークを製造する日本理化学工業はメディアでもたびたび取り上げられたことがあるが、従業員の7割が知的障害者で、経営方針は「全従業員が幸せな人生を送れる職場にする」とのことだ。現在の中央倉庫にはこのような考え方はなじまないようだ。障害者雇用が進むことで、差別を無くし、誰もが笑顔になれる職場に作り変えていけると思うのだが。

中央倉庫の障害者雇用増問題で、第三者検討委員会は28省庁で合計3700人が不正計上された と発表した。同委員会は水増しの原因として厚労省通知の不正確さや正しい理解の欠如などあげたが、亡くなった人や退職した人も計上(国土交通省)、矯正視力によるべきところを、しぐさなどから視力が悪そうなのを計上(農林水産省)などの理由を聞けば、意図的に水増ししたのではないかと疑いたくなる。

障害者雇用促進法に基づく障害者雇用率制度のもとで、法定雇用率を達成できない民間企業からは障害者雇用納付金を徴収しているが、国・自治体にはこの納付金制度は適用されていない。それは、国・自治体は法定雇用率を達成することが当たり前の前提になっているからではないのか。障害者雇用の促進を望む国民の期待を裏切る行為は到底許されるものではない。